

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス東三国教室			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 9日 ～ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 11月 11日 ～ 2025年 11月 22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<b>社会性の向上を目指すプログラムの提供ができています。</b> 毎日合計90分～120分のプログラム提供時間を設定し、テーマに沿った様々な活動を提供できるようにしています。	・個別支援計画と全体の目的を意識した効果的な集団プログラムを提供できるよう、日頃より職員相互で連携しながら支援にあたっている。	利用者の学齢層が上がってきている状態を受け、より必要とされている療育内容を検討し、中高生講座を実施できるようにしていく。
2	<b>コンプライアンス・安全管理体制の構築</b> 虐待防止マニュアルやBCP、各種安全計画を完備し、職員への周知と定期的な訓練（年2回以上）が定着している。	消防署と連携した消火訓練や、虐待防止に関する自主点検を全職員で実施。緊急時の対応手順を事務所内に掲示し、常に意識を高めている。	訓練のマンネリ化を防ぐため、夜間想定や負傷者発生など、より実践的なシナリオ訓練を検討。また、安全計画の内容を保護者へより分かりやすく周知する。
3	<b>個別支援計画に基づく丁寧な意向確認</b> 子どもや保護者のニーズを面談で深く聞き取り、最善の利益を優先した個別支援計画を作成・運用している。	面談時間を十分に確保し、児発管と指導員が連携して事業所での様子を詳細にフィードバック。同意プロセスも適切に行われている。	子どもの年齢に応じて、本人がより主体的に計画に参画できるよう面談の機会を設ける。視覚支援ツール等を用いた分かりやすい説明方法を工夫し、本人の意欲向上に繋げる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<b>職員の総数</b> 基準を満たした配置はできているものの、人員に余剰がなく、ご利用者様の受け入れに制約が出ている。	・職員の定期的な採用ができていない。 ・職員の定着のための取り組みが不十分。	・職員の資質向上のためのプログラムをさらに充実させ、安心して入職できる環境を整備する。 ・職員の休暇時や突発的な状況下でも、常に手厚い人員配置が維持できるよう、法人内の連携や柔軟なシフト体制の確保を目指す。
2	<b>家族支援プログラムの提供</b> お子様への支援に注力している分、ご家族や兄弟姉妹への支援については改善の余地があると感じている。	・家族支援のためのノウハウの不足。 ・家族支援を行う時間や環境の整備不足。	・現状で実施可能な家族支援の検討。 ・地域で行われているペアレントトレーニングや講習等の情報を整理し、わかりやすくご案内するようにする。
3	<b>虐待防止・身体拘束適正化に関する意識</b> 虐待防止への体制は整っているが、身体拘束に関する制度や実践する際の知識不足が懸念される。	・該当ケースがこれまでなかった為、制度への理解や実践への意識が持ちづらい。	・虐待防止・身体拘束適正化に関する研修を行う際に、事業所における身体拘束適正化の対応や関連書類をその都度、全職員で共有するようにする。